

## ◎平成24年度一般会計予算 33億3千4百万円

平成24年度の一般会計及び特別会計の予算は3月8日開会の定例村議会において、きめ細かい審議を経て3月16日原案どおり可決されました。  
一般会計の予算は、33億3千4百万円で前年度に比べ2.8%の増額となりました。

### ○一般会計歳入

単位：千円

	款	本年度	前年度	比較	説明
1	村 税	571,960	550,816	21,144	村税、固定資産税、軽自動車税、村たばこ税など。
2	地方譲与税	70,000	70,000	0	地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税。
3	利子割交付金	50	1,000	△ 950	預金利子等の所得に分離課税された県民税から一定割合が交付。
4	配当割交付金	300	500	△ 200	特定配当等の額に分離課税された県民税から一定割合が交付。
5	株式等譲渡所得割交付金	100	200	△ 100	特定株式等譲渡所得に分離課税された県民税から一定割合が交付。
6	地方消費税交付金	47,400	50,000	△ 2,600	消費税5%のうち、国4%・地方1%（県1/2、市町村1/2）。
7	自動車取得税交付金	16,000	20,000	△ 4,000	自動車取得税の一定額が村道の延長と面積を基準に交付。
8	ゴルフ場利用税交付金	3,500	3,500	0	ゴルフ場利用税の7割が交付。
9	地方特例交付金	550	10,500	△ 9,950	減収補てん特例交付金
10	地方交付税	1,550,000	1,550,000	0	村の基準財政収入額と基準財政需要額の差を国が交付。歳入の5割
11	交通安全対策特別交付金	1,500	1,600	△ 100	交通反則金を配分。道路交通安全施設整備に充当。
12	分担金及び負担金	42,456	42,832	△ 376	保育料、給食費、検診負担金など。
13	使用料及び手数料	21,626	22,569	△ 943	村営住宅や体育施設の使用料、放牧料、証明手数料など。
14	国庫支出金	115,432	150,626	△ 35,194	子ども手当負担金、除雪車補助金など。
15	県支出金	229,255	222,243	7,012	県税徴収負担金、小規模土地改良補助金、社会福祉・障害福祉補助金、労働費補助金など。
16	財産収入	10,596	7,321	3,275	土地、建物の貸付料、基金の預金利子など。
17	寄附金	1,601	2,001	△ 400	村民や各種団体からの寄附。
18	繰入金	200,001	138,000	62,001	村の貯金（財政調整基金他）からの繰入れ。
19	繰越金	50,000	50,000	0	前年度決算後の余剰金。
20	諸収入	91,673	84,292	7,381	花の駅使用料、貸付金元利収入など。雑収入。
21	村債	310,000	261,000	49,000	借入れ金。過疎対策事業債、臨時財政対策債。
歳入合計		3,334,000	3,239,000	95,000	
歳入合計のうち自主財源		989,913	897,831	92,082	

○一般会計歳出

単位：千円

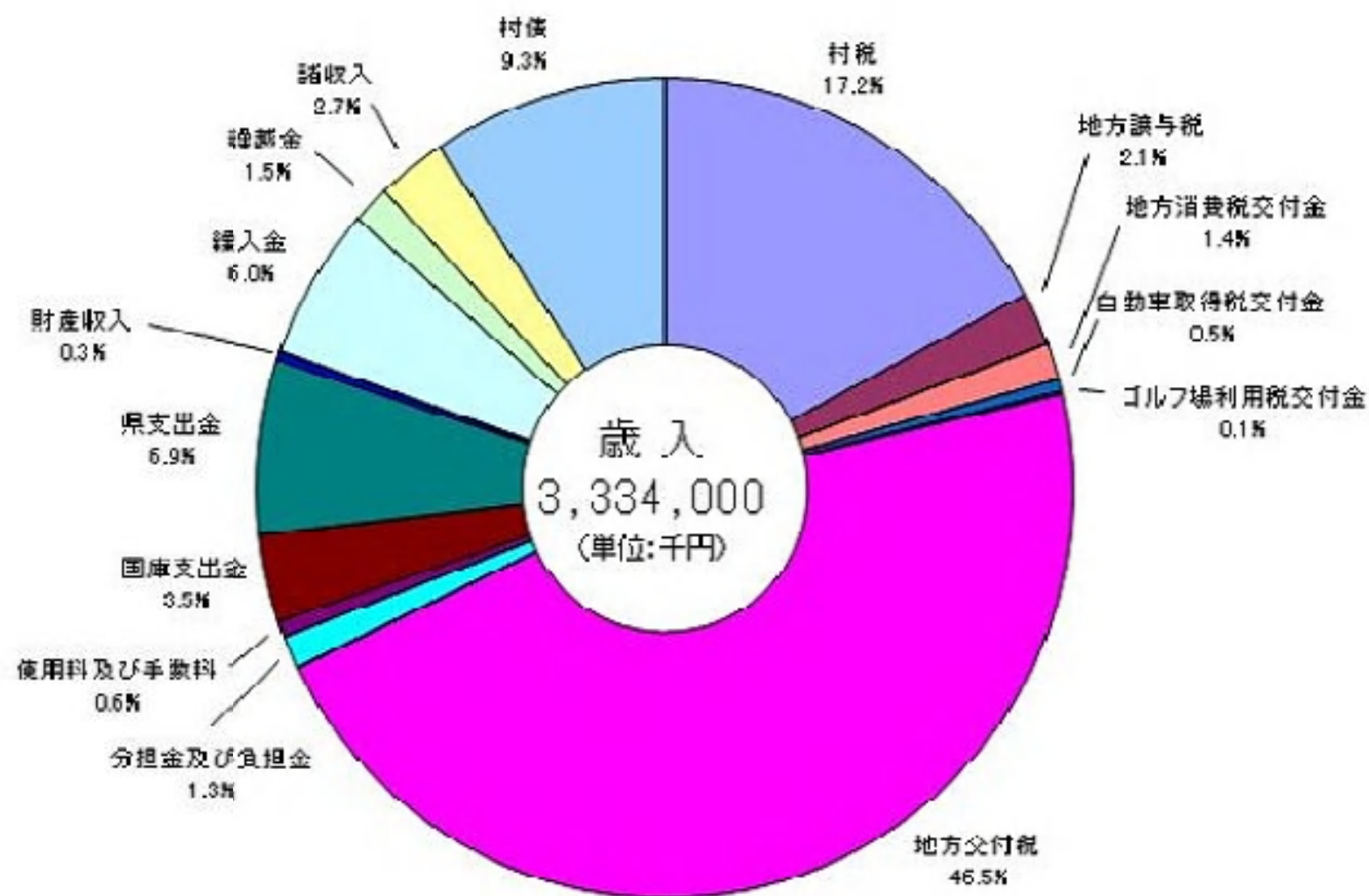
	款	本年度	前年度	比較	説明
1	議会費	75,609	86,784	△ 11,175	村議会の活動に要する経費。
2	総務費	474,803	458,666	16,137	人事、企画、財政、情報政策、徴税、戸籍、選挙、交通安全など。
3	民生費	671,233	638,453	32,780	障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、福祉医療、保育所など。国保・介護各会計への支出など。
4	衛生費	512,818	483,568	29,250	総合検診、予防接種、環境衛生、健康管理センター、簡水・後期高齢各会計への支出など。
5	労働費	56,614	54,280	2,334	緊急雇用創出事業、労働関係各団体への負担金・補助金の支出など。
6	農林水産業費	204,133	215,699	△ 11,566	農業委員会、農業土木、農業・畜産振興、林業・水産業費など。
7	商工費	88,849	77,313	11,536	商工業振興、観光振興。
8	土木費	287,268	272,443	14,825	道路、橋梁、河川、除雪経費、下水道会計への支出など。
9	消防費	165,328	178,043	△ 12,715	広域消防への負担金、消防団経費など。
10	教育費	354,887	334,819	20,068	学校教育、生涯学習、スポーツ振興など。
11	災害復旧費	3	3	0	大雨、暴風、地震などの災害による被災施設の復旧費。
12	公債費	328,455	321,929	6,526	村債の元金・利子、一時借入金の利子。
13	諸支出	112,000	115,000	△ 3,000	観光施設事業特別会計への補助。
14	予備費	2,000	2,000	0	予算外の支出または予算超過の支出に充てる経費。
歳出合計		3,334,000	3,239,000	95,000	

○特別会計予算

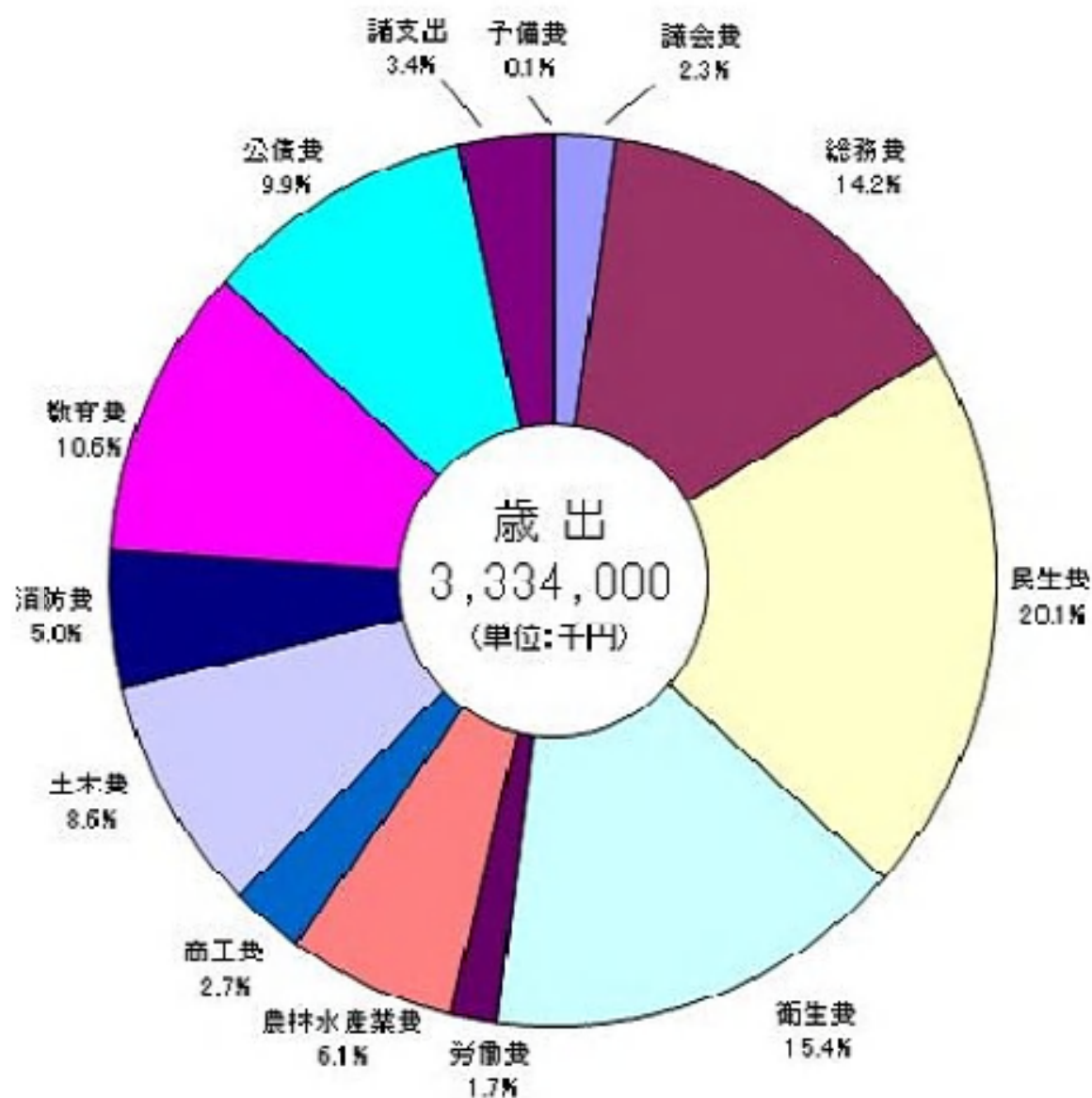
単位：千円

特別会計名	本年度	前年度	比較	説明
国民健康保険	863,708	849,242	14,466	社会保険、共済組合等の加入者以外の医療費給付事業。
簡易水道事業	89,500	80,000	9,500	6つの簡易水道事業の管理運営。
観光施設事業	尾瀬ロッジ、オグナほたかスキー場、武尊牧場観光施設の経営管理。			
収益的収入	116,290	120,209	△ 3,919	経営による収益。他会計補助金。
収益的支出	115,308	119,518	△ 4,210	収益を上げるための経費。
資本的収入	20,000	20,000	0	他会計補助金。
資本的支出	74,301	81,366	△ 7,065	企業債、長期借入償還金。
介護保険	414,018	405,195	8,823	介護予防、介護サービス事業。
下水道事業等	111,505	127,661	△ 16,156	農集排、特環公共下水道事業の管理運営。
後期高齢者医療	57,156	49,487	7,669	75歳以上（一定の障害等がある人は65歳以上）の者の医療費給付事

# 《 歳入 》



# 《《 歳出 》》



## 重点項目（主要事業）

### 1. ～自主・自立の村づくりのために～（村民・行政）

- 地域活動など、自立に向けた意欲的な村民活動への支援の充実を図る。（コミュニティ助成・地域づくり支援助成など）
- 外国人を住民基本台帳へ登録するためのシステム改修及びネットワーク改修事業を実施する。

### 2. ～誰もが安心して暮らせるために～（保健・福祉）

- 子育て支援のため「子どものための手当」を支給する。
- 不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するため不妊治療費補助金制度を設ける。
- 乳幼児や高齢者、障がい者等の福祉のため各種事業を充実させる。
- 疾病予防のため各種予防接種や総合検診の充実を図る。
- 医療・福祉を充実させるため介護保険・後期高齢者医療・国民健康保険の3特別会計の事業推進を図る。

### 3. ～豊かな心をはぐくむために～（教育・文化）

- 片品村立学校のあり方検討委員会の答申を受けて、具体的な施策について検討を開始する。
- 片品村誌の改訂を平成25年度の完成を目途に推進する。
- 平成26年に開催予定の全国中学校スキー大会に向けて準備を本格化する。
- 中央公民館図書室の充実を図り、成人者の利用に堪えられるものにする。
- 人権教育総合推進地域事業を開始する。（県委託事業26年度までの3年間）

### 4. ～快適で安全な生活のために～（環境・安全）

- 東日本大震災を教訓とした地域防災計画を見直し防災計画を策定する。
- 消防機械器具の充実を図る。
- 生活道路網の保全整備と橋梁点検の結果に基づく長寿命化計画を策定する。
- 除雪機械の整備充実を図る。
- 再生可能エネルギー事業の取り組みを推進する。

### 5. ～資源を活かした活気ある村づくりのために～（産業）

- 有害鳥獣防止柵の設置等による鳥獣害の防止を図る。
- パイプハウス設置補助等近代化農業の支援を行う。
- 小規模土地改良事業等を活用した農業基盤の整備を行う。
- 自立に向けた、事業の選択と集中による、産業の振興と若者の雇用創造等の戦略的な推進。（シンボルプロジェクトの推進として、〈仮称〉村中心地区情報発信ターミナル整備事業の実施、6次産業化の推進援助など）
- 全国名水サミット in 尾瀬かたしなを開催する。
- 全国禹王まつり（禹王サミット in 尾瀬かたしな）を開催する。
- 史跡等地域資源巡りツアー試みを実施する。
- 尾瀬ブランド品の充実化と宣伝PRの充実を図る。
- 雇用基金事業により雇用の創出を図る。
- 事業者の経営安定化を図るため小口資金融資による村独自の利子補給制度を実施する。